

「わが村は美しくー北海道」運動 第12回コンクール 応募チーム一覧

※ブロックは建制順、チーム名は50音順

No	ブロック	市町村	チー ム 名	構 成 団 体	活動の概要
1	札幌	当別町	とうべつ亜麻ルネサンス	・当別町亜麻生産組合 ・有限会社亜麻公社	1960年代に一度途絶えた北海道の亜麻栽培を当別町の地で復活させ、「亜麻の花咲く風景」を次世代へ繋ぐために、農家と亜麻公社が手を取り合い、「町の象徴」とすべく亜麻再生プロジェクトがスタートしました。亜麻畑の開花期には国内で唯一の「北海道亜麻まつり」を開催し、その景観を観光資源として活用しています。さらに、地元小学校での特別授業やワークショップ、フォトイベント、カフェイベントを通じ、町の歴史・文化・産業を一体的に伝える食育・地域教育活動を展開しています。
2	札幌	深川市	ノウフクきたそらち	・JAきたそらち ・NPO法人深川市手をつなぐ 育成会ふれあいの家 ・(株)CONNECT ・一般社団法人きたそらち ウェルフェアリンク アグリーン妹背牛	地域農業では慢性的な人手不足が深刻化する一方、福祉分野では就労の場や社会参加の機会づくりが課題となっていました。こうした双方の課題解決を図るため、平成30年に農業と福祉をつなぐ「おためし農福」を開始しました。JA施設を活用した短期・長期作業の可能性を見据え、2年間に及ぶ試行的な取組の成果を踏まえ、令和2年からは生産者による本格的な受入れが始まり、地域農業を支えながら共生社会の実現に向けた取組を進めています。
3	函館	七飯町 江差町	次世代に伝統食を継承する会	・ななえの食を考える会 ・えさし水土里の会	両団体がそれぞれの地域に伝わる伝統食を地元の農産物を使って一緒に作り、自分たちの地域の伝統食だけではなく、他の地域の伝統食を知ることで、地元の農水産物の良さや「伝統食」そのものの大切さ、そして、自分たちの地域の食文化を引き継いでいくことの大切さを伝えるため、地域住民を対象に、伝統食を題材とした料理教室の開催や食育活動を行っています。
4	小樽	倶知安町	北海道倶知安農業高等学校 畜産班 畜産班	・北海道倶知安農業高等学校 畜産班 ・JAようてい ・(有)やまだファーム	本校は、道内の農業高校で初めて肉用牛の一貫飼育を学べるようになった農業高校として、「地域と共に歩む畜産業」をテーマに、黒毛和牛の持続可能な生産と地域ブランドの創出に向けて取り組んでいます。そのため、和牛生産関係団体や地元畜産農家からの期待も大きく、地元生産団体と連携協定を結び、預託牛を預かり肥育試験も行っています。現在は2025年1月に倶知安町(有)やまだファームから預託された「出雲」を肥育試験中です。
5	小樽	真狩村	北海道真狩高等学校 有機農業コース	・北海道真狩高等学校(有機農業コース) ・真狩村役場 ・雪印種苗(株) ・北海道生活協同組合連合会 ・エア・ウォーター北海道(株) ・後志農業改良普及センター	高校のリジェネラティブ農業に関する栽培試験の実践を中心に、団体間で連携しながら技術の向上に取り組むとともに、各種大会等において情報発信を行い、その成果を地域へ展開する活動を行っています。また、地域の農家向け研修会の開催や技術指導など、地域と連携した持続可能な農業の推進に取り組んでいるほか、生産した農産物の販売や子ども食堂への食材の提供などを通じて、生産者や地域住民に向けた取組への理解醸成と交流(つながり)の促進に取り組んでいます。
6	旭川	剣淵町	けんぶち産キヌアチーム	・剣淵商工会 けんぶち産キヌア推進委員会 ・けんぶち産キヌア生産普及組合 ・(株)VIVAアグリキッチン ・(株)けんぶちVIVAマルシェ	剣淵町では、南米原産の雑穀「キヌア」の栽培を開始し、試行錯誤しながらおよそ8年間をかけて商品化にたどり着きました。このけんぶち産キヌアをまちおこしの起爆剤にしたいとの思いから、令和5年度に「けんぶち産キヌア推進委員会」を設立し、生産・加工・販売・普及活動を行う企業・団体が連携の下、イベントの開催や町内外で行われる展示商談会・販売会へ積極的に参加するなど、けんぶち産キヌアのブランド化による地域活性化に取り組んでいます。
7	室蘭	浦河町	姉富東ふるさと守り隊	・姉茶自治会 ・富里自治会 ・上東栄自治会 ・浦河町土地改良区荻伏東部支部 ・浦河町立荻伏小学校 ・浦河町立浦河東部小学校 ・JAひだか東 ・富里地区明渠排水管理組合 ・浦河町土地改良区	馬産地特有の農村風景を守り、誰もが住んでみたい豊かな農村を目指し、自治会や小学校、改良区など9つの団体が連携と役割分担の下、小学生による田植えから稲の生育観察、稲刈り、はさ掛け、収穫祭までの米作り体験のほか、浦河町の姉茶、富里、上東栄地域を中心とした農地や農道・用排水路の草刈り、花の植栽による景観形成活動を継続して取り組んでいます。
8	釧路	釧路市	地産地消くしろネットワーク	・阿寒農協 ・釧路建設業協会 ・釧路水産協会 ・釧路地域工業振興協会 ・釧路地方林業会 ・釧路市商店街振興組合連合会 ・釧路全調理師会釧路支部 ・FMくしろ ・釧路商工会 議所青年部連合会 ・釧路消費者協会 ・釧路短期大学 ・島本鉄工(株) ・釧路商工会議所 ・釧路商工会議所 ・北海道釧路総合振興局 ・釧路市	地産地消の活動を地域一帯となって取り組むことを目指し、地場産品であるくしろ産食材の管内外に向けたPRや、地場産品を「利用している企業」と「求める消費者」を繋ぐなど販路を拡げるための支援活動を行っており、16の構成団体が連携して生産・流通・支援の役割を分担しながら、地産地消イベントをはじめ、大人向けバスツアーや小学生向け出前授業などを継続して行っています。
9	帯広	鹿追町	しかりべつ高原野菜出荷組合	・しかりべつ高原野菜出荷組合 ・鹿追町教育委員会(認定保育園、小・中・高校) ・JA鹿追町口	しかりべつ高原野菜出荷組合を核に、生産者やJA、教育機関が連携し、作業の効率化と品質向上を両立を目指しながら、地域特産物であるキャベツなど「しかりべつ高原野菜」の安定生産に取り組んでいます。また、環境に配慮した資源循環の取組や営農の現場を活かした教育・交流を進め、農業を軸に人と地域が関わり続ける持続可能な地域づくりを展開しています。
10	帯広	帯広市	十勝発酵資源活用プロジェクト (北海道帯広農業高等学校 食品科学科 食品科学科 食品微生物分会)	・北海道帯広農業高等学校 食品科学科 食品微生物分会 ・上川大雪酒造 碧雲蔵	農業高校の生徒と地域の企業が連携して、地域の特性を詰め込んだ「オンリーワンの商品」開発を目指し、十勝の未利用発酵資源である酒かすや十勝産乳製品を活かした「酒かすバイクドチーズケーキ」の商品づくりに取り組んでいます。また、チーズケーキの試食会やアンケートを行うことで、地域資源の新たな魅力の発信と将来につながる食産業の展開を目指しています。
11	網走	美幌町 雄武町	笑顔deオホーツクプロジェクト	・合同会社びほろ笑顔プロジェクト ・北海道美幌高等学校 農業クラブ ・雄武高等学校	美幌町と雄武町のそれぞれに地域のテーマを設け、チーム内での交流を深めつつ、地域と共に歩みながら取組を進めています。地場農作物を加工し、その商品を地域の人達とイベントで販売するほか、保育園・小学校の子供達を対象とした食育活動を通して町の魅力を伝え、地域愛を育てる活動を行っています。また、地域の農畜産水産物の良さやそれに携わる人々の想いを伝えられるよう、ふるさと納税の返礼品を考案する「特産品開発プロジェクト」にも取り組んでいます。
12	留萌	苫前町	苫前商業高校×上田ファーム ＝とままえ応援隊！	・苫前商業高等学校 ・上田ファーム(株)	地域における実践的な学びの取組として、かぼちゃの苗植えから栽培管理、収穫、加工などの活動を行っています。また、団体同士(学校と農業者)の連携と役割分担の下、栽培指導や学習活動、PR動画制作や販売活動に加え、販売実習会の開催や地域イベントへの参加などを通じて、農業への理解促進や苫前地域の魅力発信、人材育成に取り組んでいます。
13	稚内	豊富町	サロベツでのびのび！親子で自然体験!!	・サロベツでのびのび育てるママの会 ・ポラリス・ネイチャーガイズ&コンサルタンツ	『親子で自然体験』の活動プログラムは、保育士の視点と自然ガイドの専門的知識や技術による両団体ならではの連携で組み立てられており、「サロベツを知る」「サロベツを楽しむ」「食べもののルーツを知る」をテーマに、国立公園であるサロベツ湿原の花の散策や渡り鳥の観察のほか、カヤック体験やキャンプ等の野外活動を行っています。さらには、地元農家の方々などの指導を受けながら親子での搾乳体験や野菜の栽培、味噌づくりなどの食育体験活動も開催しています。